



食の指導、田淵先生ありがとうございました。

現在、旭が丘小学校へ定期的に西大村小学校の栄養教諭の田淵先生が、給食指導に来てくださっています。本校には栄養教諭がないので、より専門的に食の指導をしていただいています。いつもありがとうございます。

<おことわり>

- ① 学校だより 10号に掲載していた「笑顔」と書いた学級掲示物の写真は、5年3組ではなく、5年2組の掲示物でした。訂正します、申し訳ありませんでした。
- ② 6月30日の地区別集団下校日の下校時間が「14：00～」となっていますが、この時間から動くという意味で、実際は14：30以降の下校となります。わかりにくくてすみませんでした。

◇ 朝の立哨等ありがとうございます ◇

6月28日をその日としている誘拐を促す悪質なメールが、大村市だけではなく全国的に出回っています。このことを受け、先週注意を促すメールをお送りしましたところ、27日月曜日の朝、非常に多くの保護者の方、地域の方が朝の見守りに協力をしてくださっていました。心より感謝申し上げます。

このような誘拐を促す悪質メール事案は今回で2回目です。どれだけの信ぴょう性があるのか正直疑問もありますが、学校としては毅然と対応していく所存です。今回の件を通じて、登下校時や地域における安心安全に対する意識を、皆さんと高めていければと考えています。

6月27日（月）命に関するリモート集会

先日、旭っ子の心を見つめる教育週間の取り組みとしてリモート集会を実施しました。命に関する講話をし、その後学年の実態に応じて命の指導をしました。

話の柱は、命はなぜ大切なのか、大切な命をこれからどうやって生かしていくか、の2点です。大昔から命は網のようにつながっている「命のつながり」と、命は多くの人々の思い支えによって、糸のように紡ぐものであるという「命の紡ぎ」について話をしました。低学年には難しかったかもしれません。

また、6年生が書いた「命はなぜ大切なのか」のコメントを数人ですが紹介しました（右枠内の6年生）。奥の深い考えだなと非常に感心しました。

今世界では、命の取扱いが非常に厳しく、浅いように感じます。戦争、飢餓、人権問題等…。学校で学んだはずなのですが…。今こそ向き合わせたい問題です。命についての意識をこれからも高めていきます。



- 命は目に見えない宝物だ…榎原由花さん
- いろいろな未来が待っている…中路莉緒さん
- 命があるのは奇跡だから大切…大浦るかさん
- 未来の世界を支えるもの…草野ひかりさん
- 親が命を懸けて生んでくれた…橋本銀雅さん
- 命はそれぞれ支えあっている…朝永 光さん
- たった一つで無くすと会えない…張本千咲さん
- 1つだけでお金で買えない…高木優那さん
- ゲームの様にリセットできない…一瀬睦貴さん
- うれしい、悲しい、ドキドキする等の感情は命がないと感じない …沖田結理さん
- 生きて何を残せるか、が私たちの生きている宿題だと思うので命は大切 …渡邊翠水さん
- 命には心がある …池田真唯さん